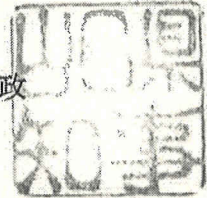


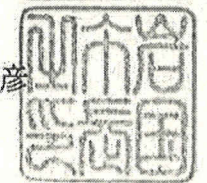
平 2 8 基 地 対 策 第 2 5 号  
平 2 8 基 地 第 7 0 号  
平成 2 8 年 (2016 年) 8 月 2 5 日

中国四国防衛局長 様

山口県知事 村 岡 嗣 政



岩国市長 福 田 良 彦



F-35Bの岩国基地への配備について (照会)

F-35Bの岩国基地への配備については、先般、8月22日に本県や岩国市等に対し、説明がありました。国内初の配備ということもあり、基地周辺住民に騒音や事故などへの不安が生じることが懸念されています。

このため、基地周辺住民の生活環境への影響を詳細に把握する必要がありますので、説明の席上において出席者からの質問に対して御回答のあったもののほか、下記のとおり、疑問点や追加説明を求めたい点があります。

つきましては、真摯に検討され、文書により御回答いただきますようお願いいたします。

記

1 任務や役割について

岩国基地配備後のF-35Bの任務や役割は何か。

2 配備状況について

岩国基地(米軍・海自)における航空機の配備機数の状況はどのようになるのか。

※現状とF-35Bへの機種変更後

3 騒音予測コンターについて

(1) 騒音予測コンターの基準となる現状をどのように把握するのか。

※平成18年の艦載機移駐の計画の際に示した沖合移設後の予測と相違ないか。

(2) 騒音予測コンターはどのような条件(①航空機騒音のデータ、②飛行経路データ、③1日の標準的な飛行回数)を基に作成するのか。

※短距離離陸や垂直着陸の運用も反映させているのか。

4 騒音の状況について

AV-8BハリヤーとF-35Bでは、岩国基地周辺での航空機騒音の状況にどのような違いがあるのか。

5 環境レビューについて

F-35Bの国内初配備に関し、環境レビューを行わないのか。

6 安全性について

(1) F-35Bの安全性をどのように確認されているのか。

(2) 運用開始から今までのF-35Bの事故の発生状況はどうか。

(3) FA-18ホーネットやAV-8Bハリヤーと比較して、F-35Bの安全性は向上しているのか。

7 開発からの経緯について

F-35Bの開発から運用開始までの経緯を示すこと。

8 環境への影響について

排気による大気への影響はどうか。

9 部隊交代のスケジュールについて

機種更新の対象となる既存部隊とF-35B部隊の併存期間はあるのか。

10 訓練場所等について

F-35Bの標準的な飛行ルートや主な訓練場所はどうか。

また、岩国基地において短距離離陸や垂直着陸の運用が行われるのか。

11 施設整備について

F-35Bの岩国基地配備に伴い、新たな施設整備があるのか。ある場合はその施設の内容と完成時期はどのようになっているのか。

12 人員の移駐等について

F-35Bの配備に伴い、約460名の軍人及び家族が岩国飛行場へ移動し、一方で、現行機の日本国外への移駐に伴い、約330名が減少する予定との説明を受けたが、約130名が増加する理由は何か。

13 空域調整について

F-35Bの岩国基地配備に伴い、訓練空域や岩国レーダー進入管制空域について、米軍、自衛隊及び民間航空機の間で何らかの調整が行われるのか。

14 訓練移転等について

F-35Bの騒音軽減のため、他基地への訓練移転等の影響緩和措置が実施される計画はあるのか。

15 垂直離着陸パッドについて

F-35Bも岩国基地に設置されているハリアー用の垂直離着陸パッドを使用するのか。

16 空母艦載機移駐後の騒音予測について

今回のF-35Bへの機種更新に伴い厚木基地からの空母艦載機移駐後の騒音予測に影響は生じるのか。

17 今後の配備機数について

F-35Bの配備機数は、今後、増加する予定があるのか。